

谷高 1 学年通信

令和2年6月3日
新潟県立小千谷高等学校
No.7 第1学年

1. 6月1日（月）から平常授業再開。

(1) 6月1日（月）から平常授業が再開されました。

この学校再開は、日本中で新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためにそれぞれの人がそれぞれの立場で自粛に耐えて生活してきた成果の一つです。しかしながら、すべてが全く平常に戻ったわけではありません。引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐために、今後とも「感染防止の3つの基本」をはじめ、「新たな生活様式」をお互いに強く意識して実践していきましょう。

(2) 「エール～大切なものを守るために～」(新潟日報より)

6月1日（月）新潟日報社説“座標軸”の文章を紹介したいと思います。

「不自由な生活で気付かされたことは多い。」6月1日（月）社説“座標軸”掲載の文章はこう書き出しています。この文章を読んで、改めて、当たり前だと思っていたことがそうではなかったことに気付かされます。

4月から、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により緊急事態宣言が出され、不安や制約の多い生活に耐える期間を過ごしていました。その中で、医療はじめ、介護、保育、スーパー、ゴミ収集、宅配など、自らがウイルスに感染するリスクに注意を払いながらも普段以上に奮闘している様々な人たちに支えられ、私たちの毎日の生活が成立していることを実感しました。

緊急事態宣言が解除された今も、依然として油断はできません。「誰もがウイルス危機克服チームの一員だ。励まし、励まされながら、大切なものを守りたい。」一刻も早い感染の収束に向けて、みんなでこの危機を乗り越えていきましょう。

(3) 見えないウイルスの不安に負けず、お互いを支え合い、尊重し合いましょう。

見えないウイルスのため、感染防止に一生懸命に努力していても感染することがあります。そこで、誰もが守らなければならない大切なことは、万が一感染してしまった人や濃厚接触の人、また、いつも感染の危険と隣り合わせで日々奮闘している方々に対して、偏見や差別的な言動など、人権侵害につながることは絶対に行ってはいけない、ということです。

この感染症の感染拡大を最小限に食い止めるために、そして、社会経済活動を維持するために、辛く不安な状況にある人の気持ちを思いやる行動をしなければなりません。国や県などの公的機関が発信する正確な情報を入手し、不確かな情報やデマなどは広めないなど、みんなが冷静に行動して、この感染症の収束を目指しましょう。

(4) 生活上の主な留意点について

①「新しい生活様式」の実践

- ・人混みを避け、不要不急の外出は避ける。
- ・こまめに手洗いやうがい、換気をする。
- ・咳やくしゃみの飛沫拡散を防ぐ。

②家庭での健康観察

- ・毎朝自宅で検温し、計測結果を「今未来手帳」に記入する。
- ・発熱や風邪症状のある場合は、自宅で休養する。

③公共交通機関の利用マナー

- ・できるだけ密集しないようにする。
- ・マスクを着用し、会話は控える。
- ・咳やくしゃみのエチケットを守る。



2. 6月の1年生の主な予定について

(6月行事予定表は配付済みです。)

*以下の予定は変更することもあります。

6月3日(水) 7限 LHR(文理選択「本調査票」配付、他)

4日(木) 検尿2次提出

8日(月) 部活動再開

9日(火) 7限 学年集会(模擬試験事前指導、他)

10日(水) 7限 LHR(文理選択、他)

*「本調査票」の提出締め切り日です。この日までに担任に提出してください。相談がある人は提出締め切り日までに担任に連絡してください。

15日(月) 課題テスト(終了後、授業)

*実施時間および実施科目は後日連絡します。

16日(火) 7限 模試指導

17日(水) 7限 LHR

19日(金) 一斉部会(第2回部活動登録日)

*小千谷高校生だからこそ参加できる谷高の部活動は、一生を通しての貴重な経験であり、かけがえのない財産となるはずですので、部活動への参加を強く推奨します。

22日(月) 課題テスト(終了後、授業)

*実施時間および実施科目は後日連絡します。

23日(火) 7限 模試指導

30日(火) 7限 模試指導